

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めざせ、均等待遇。

なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

# 第5回中委員会開催

# 未来



郵政産業ユニオン  
全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙「みらい」  
NO. 3728  
17年2月10日(金)  
・Fax 095-828-1953



おはようございます。  
2月4日(土)から2月5日(日)まで、東京都豊島区生活産業プラザで開催された「郵政産業ユニオン第5回中央委員会」に、支部からも高口支部長と山田書記長が出席しました。

中央委員会は上平副委員長の開会挨拶でスタートし、委員会役員任命の後、議長団には東京地本の菅野委員と近畿地本の坪井委員を選出しました。資格審査報告と議事日程の確認を受け、議長が中央委員会の成立を

宣言しました。  
続いて日巻委員長が3つの点にふれて挨拶されました。

安倍暴走政治を許さな  
いたたかいに全力を挙げて奮闘すること。

政府が設置した働き方改革実現会議は郵政ユニオンが真正面からたたかってきたからこそ、国会で審議する社会的情勢をつくりだしたこと。



③2016年のブラック企業大賞で、特別賞とウエブ賞を受賞した日本郵便を春闘のたたかいを通じて、まともな企業に変えていく役割があること。

そして最後に「行動する春闘」「総がかり春闘」を展開していこうと呼びかけました。

まで活発に発言しました。委員会終了後は、近くの居酒屋に移動し懇親会を行いました。

その後、全労連岩橋副議長、全労協金澤議長の二名の方の来賓挨拶を頂きました。休憩を挟み一般経過報告、会計及び監査報告、福祉共済会前期会計報告及び監査報告がありました。

中村書記長からは、2017年春闘方針(案)が提案され、その後は議案討論に入って行きました。

一日目は我々と同じように「労働契約法20条裁判」でたたかっている「東京メトロコマーズ」の原告の挨拶からスタートしました。原告からの挨拶後は、昨日の討論が継続され、各委員からは時間が許す限り発言が続きました。

各委員は議案への意見や各職場での過酷な現状・たかひの報告を、18時半

一日間の委員会で発言された一部を紹介します。  
渉外社員でユニオンに入って露骨なパワハラはなくなつたが、支社が研修でロープレのダメ出しなど、2時間つめる(東海)  
本人限定郵便の料金設定は見直すべき。また再配

達には別料金を取るべき(近畿)  
超動に関する特別条項は、日常的に使われている実態がある。議案書にも書いてあるように廃止するべきだ(北海道)  
人員不足に対して支社に問うと、募集しても集まらないとの回答。正社員登用人数の拡大も含めて正社員の大増員を要求するべきだ(東京地本)

本部答弁では「委員の発言は議案の補強意見と考え、支部・地本・本部が一体となつて運動していく。但し運動の基本はあくまでも支部にあると考えている。支部の自主的な活動を本部が支援し、運動を広げていく」とまとめられました。

委員会議案は、各委員の賛成で採択され「2017年春闘方針」を確立しました。

その後、高口中執の委員会アピール、家門副委員長の開会挨拶と続き、最後に日巻委員長の団結ガンバロ―で中央委員会を締めくくりました。



期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。  
1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。